

POS レジ・自動釣銭機仕様書

1. ハードウェア要件

(1) POS レジ本体

OS : Windows 10 以上

CPU : Intel Celeron J1900 程度

メモリ : 4GB 以上

内蔵ストレージ : SSD 128GB 以上

液晶ディスプレイ : 15 インチ以上

(2) 客面表示機

モニター : TFT-LCD 9.7 インチ 以上

タッチ機能 : 投影式静電容量

インターフェイス : USB TypeA (データ通信+給電)

(3) 自動釣銭機

取扱金種日本銀行現行 紙幣 4 金種 硬貨 6 金種 (1 万円、5 千円、2 千円、千円)
(500 円、100 円、50 円、10 円、5 円、1 円) 補充速度 硬貨 約 6 枚/秒 紙幣 約 4 枚/
約 1 秒出金速度 硬貨 999 円/約 3 秒 紙幣 9000 円/約 3 秒挿入口最大 硬貨 最大 50 枚 紙
幣 25 枚 *1) (官封券払い出し口 硬貨 60 枚 紙幣 20 枚収納容量 1 円 10 円 100 円 約 170
枚、5 円 50 円 500 円 約 160 枚、500 円約 110 枚、千円固定 約 250 枚、2 千円/5 千円/1
万円 3 金種合計 : 約 100 枚回収庫容量 約 220 枚

※2024 年 7 月発行の新紙幣に対応していること

2. ソフトウェア要件

(1) POS レジソフト

- ・ 担当者の登録が可能であること
- ・ POS レジ本体と自動釣銭機の切り離しが可能であること
- ・ 電子ジャーナルに対応をしていること
- ・ 対面式セミセルフレジは、職員が金額を入力し、決定後に自動釣銭機投入口に職員が硬貨紙幣の投入をして自動計算自動釣銭機の機能があること
- ・ 現金・クレジットの操作が可能であること
- ・ 部門を 500 部門以上出来ること
- ・ 日々の部門集計が出来てレシートから印刷が出来ること

- ・ 日々の商品別の売上集計が出来てレシートから印刷が出来ること
- ・ 返品機能があり、レシート印刷が出来ること
- ・ 日付と時刻について販売画面で表示ができ、かつ日付は自動更新する機能があること
- ・ POS 端末から金種枚数の残量確認する機能があること
- ・ 証明手数料、設計審査手数料はタッチメニューから呼び出す機能があること
- ・ 返品は販売時のレシートにバーコードが印字されており、そのバーコード読込む事で返品処理する機能があること
- ・ 保留機能があること、保留データは 100 件以上残す機能があること
- ・ POS 端末単体で日報の閲覧が出来る機能があること
- ・ 締め処理後に釣銭機からお金を出金する時に釣銭準備金の金額分を残して売上金の回収する機能があること

(2) 自動釣銭機

- ・ 釣銭機内の現金残高やエラー発生時のエラー表示が出来る事
- ・ 紙幣及び硬貨の一括投入と自動での仕分け機能を有していること
- ・ 釣札及び釣銭の自動払い出しの機能を有していること
- ・ 釣銭の取り忘れを防止するための機能を有すること
- ・ 取引履歴の確認が可能であること

3) キャッシュレス(例：Stera 端末)以下のブランドの取り扱いが 5 種類以上必要であること

(※今回の入札ではクレジット端末は含まないが、連携可能であること)

- ・ クレジットカード種類：VISA・MASTER・銀聯・JCB・AMEX・Diners
- ・ 電子マネー種類：交通系・Edy・WAON・nanaco・iD・QuicPay
- ・ QR 決済：PayPay・auPay・d払い・LinePay・WeChatPay・Alipay

3. 保守・サポート

- ・ 機器のトラブルや操作方法などについての電話サポートが可能であること
- ・ POS 端末および自動釣銭機のハード保守はオンサイト保守対応であること
- ・ 緊急時の連絡先シールを POS 端末に貼り付けて納品すること

4. その他

- ・ 医事会計システム側の請求書レイアウト変更費用を含むこと。
- ・ 1 年間の保守費用を含むこと。